

こころぽかぽか集会(7月9日)



全校でぽかぽか言葉とちくちく言葉について考える集会をしました。ぽかぽか言葉は、人の心が温くなる言葉、ちくちく言葉は、人の心を傷つけてしまう言葉です。ちくちく言葉をなくし、ぽかぽか言葉をたくさん使おうということを、総務委員会の子供達が全校の子供達に訴え、各学級で話し合ったぽかぽか言葉の発表をし、小池司書さんと安井校務技師さんの絵本の読み聞かせ(しあわせのバケツ)を聞きました。

最後に、総務委員長の話と子供達の感想発表がありました。どの子も、言葉について考えたいい会になりました。ぽかぽか言葉であられる学校にしたいですね。

子供達が考えた「ぽかぽか言葉」

ありがとう じゃすだね いいよ いっしょにあそぼう だいじょうぶ どういたしまして あきらめないで おいしいよ かしてあげる たのしいね すごいね がんばれ やったね おさきにどうぞ ゆずってあげるよ いっしょにいるとたのしいね さきにいていいよ てつたおうか ナイス うれしいよ やさしいね つぎはできるよ はいって ともだちだもん・・・などなどたくさん

子供の感想から

☆ぽかぽか言葉について話し合いました。ぽかは「ありがとう」や「がんばったね」という言葉を言われるとうれしい気持ちになります。こういう言葉を掛合小学校全体に広げたら学校の1~6年生が友だちにやさしくできて、うれしい気持ちで学校に行けると思っています。ちくちく言葉はからかったり悪口やよびすてがげんいんになっていることがわかりました。間違えてちくちく言葉を使った時はあやまいます。そう思った理由は、遊びで勝った時に

「わあい。勝った勝った。楽勝だった。」とか言うと、負けた人が悲しくなるからです。ぽかは、ちくちく言葉を使わないようにして、友だちと仲良くしたいと思っています。

☆わたしは、ぽかぽか言葉をふやしていこうと思います。「ありがとう」は、ふつうにいてるけど、「ごめんね」

は少しはづかしくて言いにくいです。だけど、「ごめんね」を言わないとけんかになります。「ごめんね」は、とても大事だと思います。

廊下に「心ぽかぽかコーナー」ができ、各学級から出たぽかぽか言葉が掲示してあります。

そして、心がぽかぽかになる本もおいてあります。「どんなきぶん?」「おめでとう おひさま」「えらいえらい!」「ありがとうのえほん」「ともだち」「ことば」「佐賀のがばいばあちゃん」などの本です。時折、立ち止まって読む子供達の姿がみられます。



①めざせ!聞き方名人158人 ②めざせ!そうじ名人158人 ③めざせ!あいさつ名人158人

1学期のそうじ名人・・・99人!!

☆7月14日のところでは、赤25名・青21名・黄25名・緑28名でした。ちょっと緑が優勢です。月ごとに、どんどん名人が増えていくといいです。また、5月に続いて2回目の名人になった人は44人いました。スーパーそうじ名人や超スーパーそうじ名人に向かってがんばります。

☆いよいよ21日からは夏休み!子供達にとっては、待ちに待った長い休みです。家では、一日をどうやって過ごさせようかと考えていらっしゃる保護者の方も多いと思います。地区懇談会の時に教頭から話したように、子ども自身で予定や計画を決めさせて、それをやり遂げる経験をぜひさせてください。2学期の学校生活は、夏休みにもう始まっていると考え、リズムのあるいい一日を重ねるようにしましょう。☆また、夏休みは地域で過ごすことが多くなります。「おはようございます」「さようなら」など、いろいろなあいさつを地域の中でかわすことから、いろいろな話も広がるでしょう。そして、地域の大人と関わりをもつことで、また親しみをもつことにもなります。ぜひ、地域に帰っていい経験をする夏休みでありますように。2学期は、8月27日からです。元気な顔で子ども達と会えることを楽しみにしています。

安全指導員さん、ありがとうございます

分校の耐震化工事のために車が通ります。子供達の安全のために、交通指導員さんが分校校庭の入り口のところに朝から立っていてくださいます。

その指導員さんが登校してくる子供達にいつも「おはようございます」とあいさつをしてくださっています。

でも、子供達のあいさつはまちまちです。元気のいい「おはようございます」が言える子供もはどのくらいでしょう。指導員さんに聞いてみたら、日によって違うものの「高校生さんの方がいいあいさつですね。」とのこと。

ほぼ全員があいさつはできるけれど、声が小さい子供も多いのは坂の下でも同じです。聞こえなければ、せっかくのあいさつも台無しです。また、日によって、班によって、あいさつが返せない子供もいて、心が痛みます。学校でも、地域でも、家でも、「おはよう」のあいさつが大きな声で言えるように、習慣づけていきましょう!いつも大きな「おはよう!」のあいさつを子供達にしてくださる指導員さんのためにも。

ストーリーテリング(7月2・14日)

昨年度に続いて、松江から宇田祥子先生をお招きして、ストーリーテリングをしていただきました。

1学年1時間ずつ、ろうそくをつけた部屋で、静かな語りを聴きました。

お話が始まると、子供達は物語の中に入り込んで、夢中になって聴きました。

お話を聴くことは、心の中に不思議な生き物や人物の住む世界を作りあげることであり、想像力を駆使してその住人になることも自由自在です。

心のどこかにそんなゆとりのある部屋を一つもって大人になってほしいと思います。



子供の感想

(略) 2つ目のお話は、ちょっとびっくりしたお話でした。最初は怖かったけど、お話を聞くとすごくおもしろかったし、楽しかったです。(略) 3つめのお話は、男の子が国のためにおしゃべりな大臣に他の人の気持ちをわからせたので、とてもすごかったです。その男の子は、葉っぱに動物のもようを石でくりぬいていてとてもすごかったし、びっくりしました。このお話は頭の中で想像できて、とても楽しいお話でした。(略)

にこにこデー(7月1日)

雨の中の「にこにこデー」でした。雨にもかかわらず、多くの方が立ってくださいました。ありがとうございます。

学校の坂の途中では、分校の寮のお姉さん達が立って、あいさつしてくださいました。少し遅れた子供にもよりそいながら、やさしく声をかけている姿がとても優しかったです。



人権の花を育てよう・・・今の様子

子供達が一生懸命に水やりをしてこんなに大きくなりました。これから、各交流センターや掛合分校に置かせていただきます。

それぞれの場所で、子供達の花がきれいに咲きそろうのが楽しみです。

また行かれたら、みてくださいね。写真は、掛合交流センターに持って行ったところです。



男女共同参画の絵本展示

人権センターから今年度も男女共同参画に関する絵本をお借りして、廊下に置きました。子供達はその前に座り込んで読む姿がありました。

知らず知らずのうちに男女の役割を決めつけていることはないか、大人も時々振り返ってみるのもいいと思います。

掛合小では、夏のうわばきの色は男女で決まっているわけではなく、個人で赤か青か選べます。



学校関係者評価委員会(7月9日)

学校関係者評価委員の皆様、今年度の学校の評価表をもとに教育活動を説明し、ご意見をいただきました。

学校への積極的なご意見・日頃地域について感じていること等、いろいろ聞かせていただき、有意義な会になりました。今後、学校行事等にお呼びし、子供達の様子を見ていただき、2月には来年度の改善事項についてご意見を伺うことにしています。

- 委員の皆様
- 教育後援会長 影山喜文様
- 学校評議員 景山耕次様 加藤洋二様 横山誠二様 山中洋美様 岡田治喜様
- PTA会長 佐藤伊知郎様
- 吉田・掛合スポーツ少年団連絡協議会長 石飛大吾様

よろしくお願ひします。

水泳の授業は楽しい…泳げなくても…

6月から7月の体育は、水泳の授業でした。子ども達は、水泳がある日は朝からわくわくしています。暑い日に水の中にいるだけでも気持ちがよくて、高学年の男子が「ここは天国だ～」と叫んでいるのもうなずけます。ただ、水の中の安全には夏休みのプール開放の際にも、十分気をつけてほしいと思います。



何とかみんなに25m泳いでほしいと、教職員の指導にも熱が入っていました。

警察音楽隊の演奏(7月8日)

今年度の音楽鑑賞教室は、県の警察音楽隊の演奏を聴きました。迫力のある演奏や、カラーガード隊の演技に、子ども達は「すごい!」「かわいい!」と息をのんで見つめていました。約1時間、いろいろな曲やフラッグの演技を楽しみました。めったにない機会でした。



(子どもの感想より)

(略) いろいろな楽器の音がきれいで、一番好きな音色はクラリネットです。

(略) いろいろな曲やいろいろな音が出てくるし、パフォーマーさんは曲にあわせておどっていて、すごいなと思いました。

私は、小さいときから音楽が好きなので、つい見とれてしまいました。

(略) たい場する時にパフォーマーさん達と指揮者の方にタッチをしたので何かわからないけど、うれしかったです。私は、「たぶん音楽が好きだからうれしいのかな。」と思いました。とてもうれしかったし、楽しかったです。

授業公開日(7月3日)



1年生…生活



2年生…算数



3年生…書写



4年生…国語

5年生…総合



6年生…算数



わかば…算数



やまびこ…学活

授業公開の後は、消防署の皆さんによる救急救命法の講習でした。今年度からは5・6年生の子ども達も一緒に受けました。

夏休みには、PTAによるプール開放が行なわれ、保護者の皆さんによる監視当番が始まります。安心して監視ができるように、保護者の皆さんも一生懸命に実技を行ったり講話を聞いたり質問したりしておられました。

また、初めて参加した高学年の子ども達はお話に興味津々で、自分たちも心臓マッサージや呼吸法などを行ないました。特にAEDには興味を示し、まわりを取り囲んで見つめていました。

実際に使うような場面があってはなりませんが、真剣に学んでいる様子をうれしく思いました。



図書室のかわいい光景(6月27日)

ある日の昼休み、6年生の男子が1年生に絵本を読み聞かせていたそうです。

日頃、低学年をかわいがっている6年生ですが、この光景は何ともほほえましく、その様子を見た司書が担任に、担任が校長に知らせてくれました。その写真を職員で見ればらく楽しみました。

こんな姿を見ることができ、一緒に喜び同僚がいることが、学校に勤める喜びでしょうか……。



しあわせ花壇~7月の様子

わかさ会の皆さんに植えていただいたサルビアの苗が少し大きくなりました。花をつけたものもあります。

水やりもしていただき、健やかに育っています。夏休みには花がさくかもしれませんね……。体育館側からの入り口を通られることがあったら、ぜひごらんください。



事務部からのアンケート

事務部では、子ども達から「こんなものがほしい」「こんなところを修理してほしい」などのお願いがあったらアンケートに書いてくださいと、子ども達が自由に書けるアンケートを置きました。

早速いろいろな要望が寄せられたようです。中には、「つくえのねじがとれました」

「やわらかいボールがもっとあったらいいな」

などのかわいいお願いや「ちかしつがほしい」

などのダイナミックなものもありました。

今後、備品購入の参考にしていくそうです。



七夕のお願い

職員室前の掲示は、七夕かざりです。

「試合に優勝できますように」「OOくんとずっとともだちでいられますように」

「そうめんがいっぱい食べれますように」

「パティシエになりたい」「大金持ちになりたい」

「幸せな日々が続きますように」

など、たくさんのお願いが書いてありました。かないますように!



救急救命法のあとは、地区懇談会でした。各地区で、子ども達の夏の過ごし方について話し合われました。危険な場所の確認には、地図が役立ちました。

全校集会で話したこと

ちょっとしたことでけんかになったり、手が出てしまったりすることもまだあります。……人のうっかりを、許しあうことができれば、温かい雰囲気生まれると思います。

でも、「ごめんなさい」は、「ありがとう」よりも難しい言葉かもしれませんね。

